



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）
第52号 令和3年2月4日発行

全校集会

26日に全校集会を行いました。まず、校長から次のような話をしました。

- 〇あいさつ…あいさつは、人と人をつなぐ大切な言葉です。「言葉は心をつなぐ」役割ももっています。ですから、これからもしっかりとしたあいさつができるように心がけてほしいと思います。
- 〇学習ができる…2月に「学力テスト」があります。たくさん問題を解くようになります。国語や算数で「こんなことが分かるようになった・できるようになった」「正しく問題が解けるようになった」という経験にしてほしいと思います。そのために、授業とともに自分で考えて家庭学習にも取り組んでほしいと思います。
- 〇運動ができる…来週は「なわとび記録会」があります。みなさんの目標は何ですか。二重跳びを50回跳ぶとかあや跳びを100回跳ぶなど、自分の目標をもっていることと思います。その目標の達成に向けて、がんばってほしいと思います。休み時間などにも積極的に練習している姿を見ます。すばらしいです。
- 〇やさしくできる…今度「校外子ども会」があり、集団登校について話し合います。班長さんは、班の友だちの歩くスピードや交通安全などに気を付けるなど、思いやりの心でがんばってほしいと思います。

次に、図書委員会からの発表がありました。図書室の正しい使い方について、分かりやすく〇×クイズを行いました。本の返し方や図書室内でのマナーなどについて学ぶことができました。とても工夫された発表ですばらしいなと思いました。



節分集会



3日に節分集会を事前に撮影したビデオを使用してテレビ放送で行いました。各学級の退治したい鬼の発表がありました。「すききらいする鬼」や「けじめのない鬼」など、さまざまな鬼の発表がなされ、「なるほどなあ」と思いました。改善したいことを「鬼」に見立て、改善するために心がけたいことたり意識されているようでした。誰でも「よりよくなりたい」という思いをもっています。学級の鬼退治はみんなで心合わせて退治して、自分の鬼は自分で心がけて退治する、そしてよりよい自分とよりよい学級になることを願っています。

声掛け事案の発生状況について

福島県警察本部少年課発行の「学校・警察児童生徒安全だより」によりますと、次のような特徴が見られるとのことです。

- 〇学生の下校時間帯（13:00～17:00）における発生が、約70%
- 〇通学路等の路上における発生が、約90%
- 〇小学生に対する声掛けが、約65%
- 〇子供1人でいるときの発生が、約70%
- 〇被害児童の性別は、男子約30%、女子約70%

子どもたちが被害にあわないように「複数で下校する」「防犯ブザーを活用する」などを意識させていきたいと思います。